

エコ資金調達・運用における  
金融サプライチェーンのグリーン化普及・拡大  
- 金融行動原則の実践 -

**NEC** NECキャピタルソリューション株式会社

 **DBJ** 株式会社日本政策投資銀行

2013年12月13日

環境・復興支援シンジケートローンプロジェクト

## DBJの中立性を活かした金融ネットワーク

業務提携を締結した金融機関数 **101機関** (平成25年3月末)

- 地域企業のM&Aに取り組むため約80の地域金融機関と「地銀M&Aネットワーク」を構築
- 中堅企業等のアジア進出を支援すべく、全国の地銀と連携し「DBJアジア金融支援センター」を設立(平成25年6月末時点で加盟地銀66行)
- 地銀の環境格付融資の開発・運用に際して、積極的な支援(15行)を実施
  - ↳ 企業の環境経営度を評価し、その評価内容を融資条件に反映させるDBJが世界で初めて開発・採用した融資メニュー



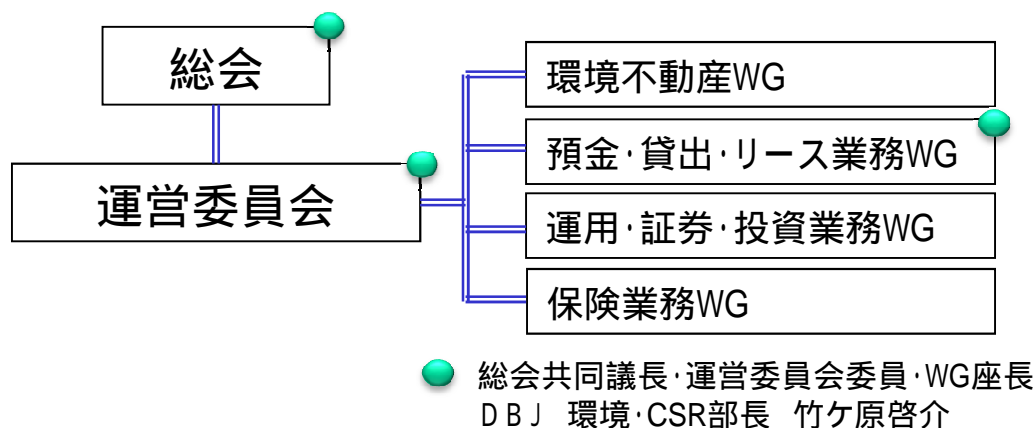
### エコファイナンスクラブの組成

上記、環境格付融資の開発・運用支援を通じて得られたネットワークを活かし、環境金融のさらなる普及・啓発を目的としたエコファイナンスクラブを主宰(参加金融機関数約20機関)



## 持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則 (21世紀金融行動原則)

- 地球の未来を憂い、持続可能な社会の形成のために必要な責任と役割を果たしたい考える金融機関の行動指針として策定。
- 本原則は業態、規模、地域などに制約されることなく、志を同じくする金融機関が協働する出発点となることも意図されている。
- 平成25年3月29日現在で186機関が署名。



原則	
1.	自らが果たすべき責任と役割を認識し、予防的アプローチの視点も踏まえ、それぞれの事業を通じ持続可能な社会の形成に向けた最善の取組みを推進する。
2.	環境産業に代表される「持続可能な社会の形成に寄与する産業」の発展と競争力の向上に資する金融商品・サービスの開発・提供を通じ、持続可能なグローバル社会の形成に貢献する。
3.	地域の振興と持続可能性の向上の視点に立ち、中小企業などの環境配慮や市民の環境意識の向上、災害への備えやコミュニティ活動をサポートする。
4.	持続可能な社会の形成には、多様なステークホルダーが連携することが重要と認識し、かかる取組みに自ら参画するだけでなく主体的な役割を担うよう努める。
5.	環境関連法規の遵守にとどまらず、省資源・省エネルギー等の環境負荷の軽減に積極的に取り組み、サプライヤーにも働き掛けるように努める。
6.	社会の持続可能性を高める活動が経営的な課題であると認識するとともに、取組みの情報開示に努める。
7.	上記の取組みを日常業務において積極的に実践するために、環境や社会の問題に対する自社の従業員の意識向上を図る。

以上

(預金・貸出・リース業務WGで議論されている今後の課題)

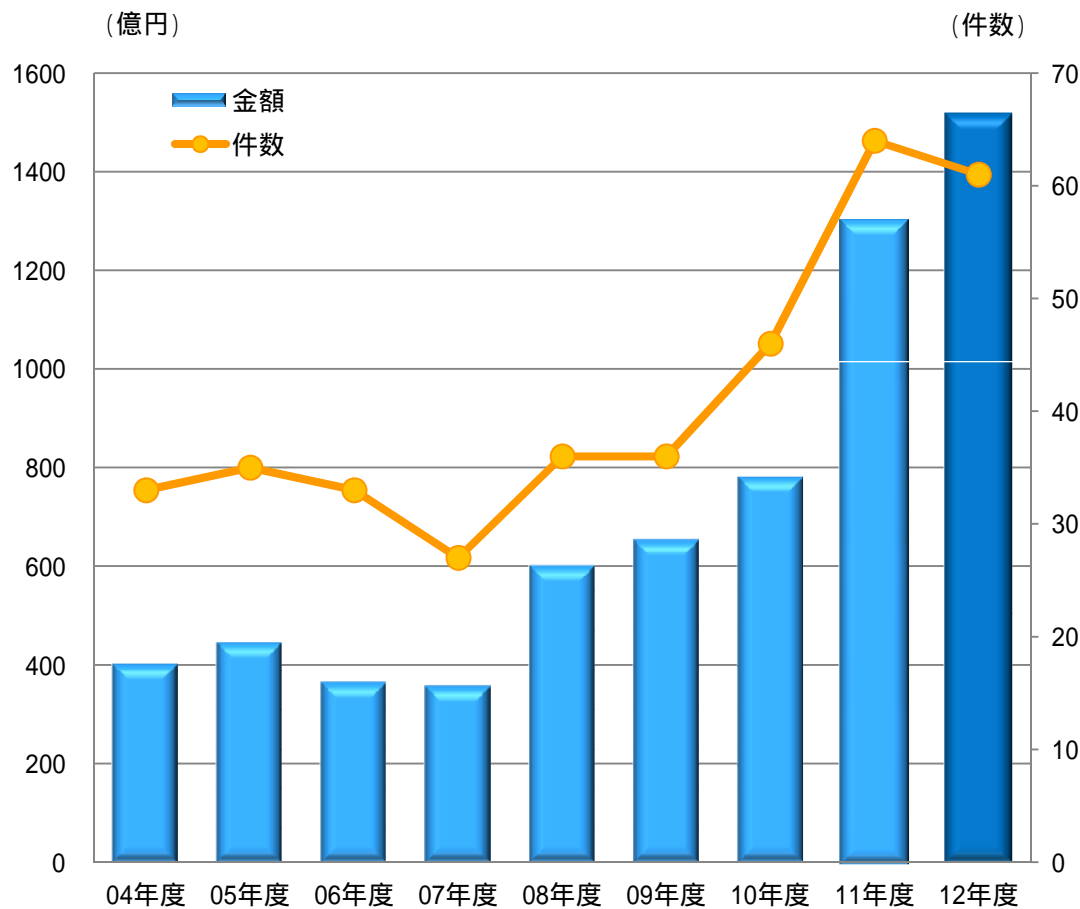
枠組みは出来たものの具体的な実践はこれから  
規模の大小を問わず様々な金融機関が参加することで裾野の拡大を図る

**本件は金融協働プロジェクトとしてのベストプラクティス**

# (参考)DBJ環境格付 実績

2013/3末累計 約6,400億円 371件

2012年度



**環境融資 500億円超え**

**政投銀 TDK向けで大台**

日本政策投資銀行による環境格付に伴う融資制度「DBJ環境格付」の適用額が、9月末までに累計で500億円超となった。同制度は企業の環境活動を評価し結果に応じて金利を優遇する仕組みで、2004年に創設した。先のTDKへの融資で大台を超えた。

TDKはセラミックコンデンサーやハードディスク駆動装置(HDD)用磁気ヘッド、産業向け電源装置などに強みを持ち、2回連続でDBJ環境格付の特別表彰を受賞した。2回連続での特別表彰の受賞は、電子部品業界では初めてとしている。

条件を設定する。金利を引き下げて資金を供給することで、環境への取り組みや環境関連事業を金融面から後押しする。TDKのケースを評価したのは①環境配慮型製品の供給体制の確立②二酸化炭素(CO2)排出削減貢献量の可視化・定量化への取り組み③業界全体を先導する活動状況

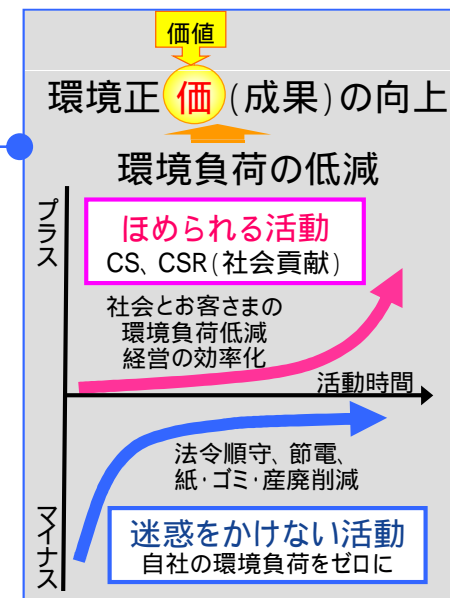
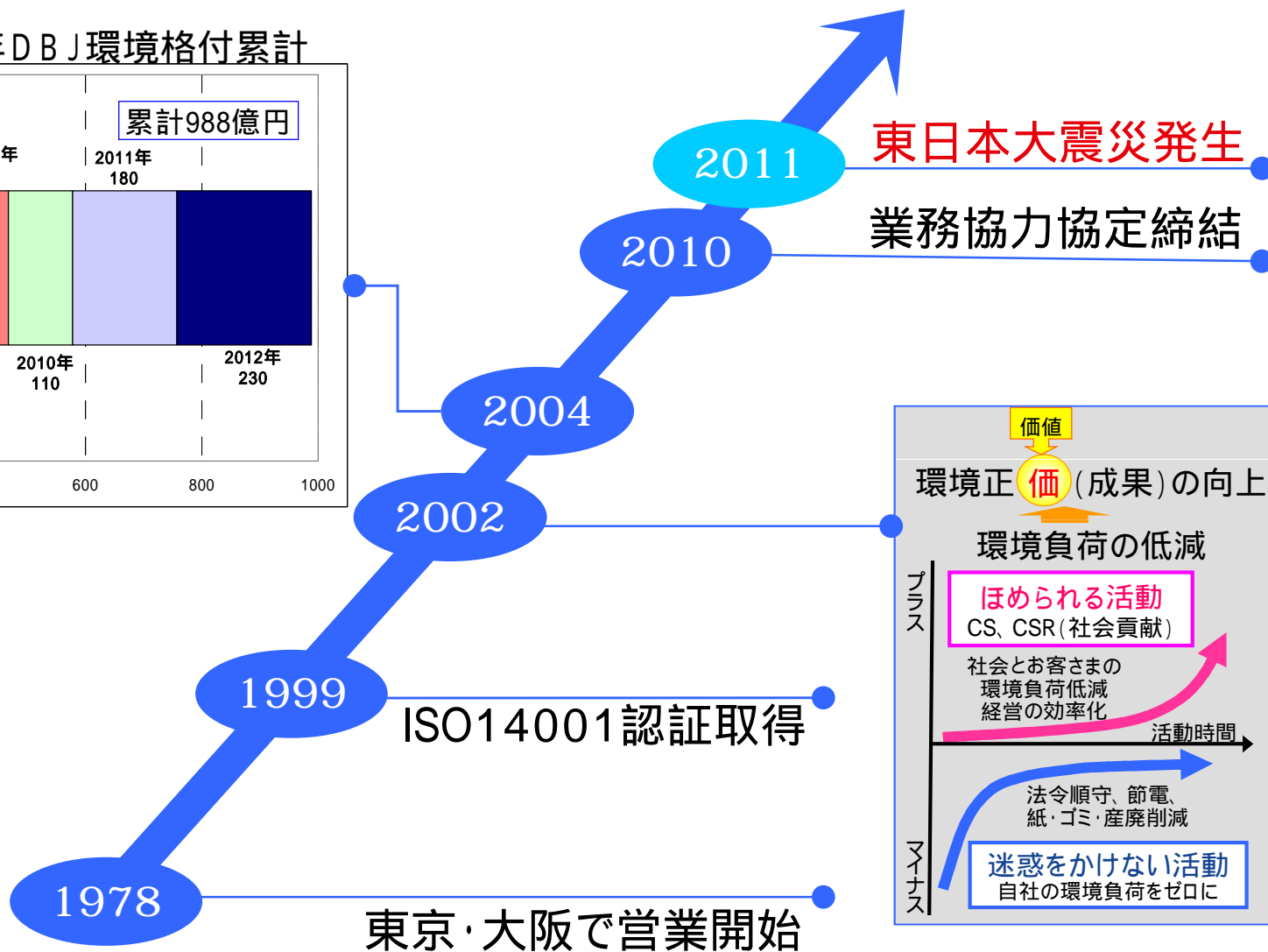
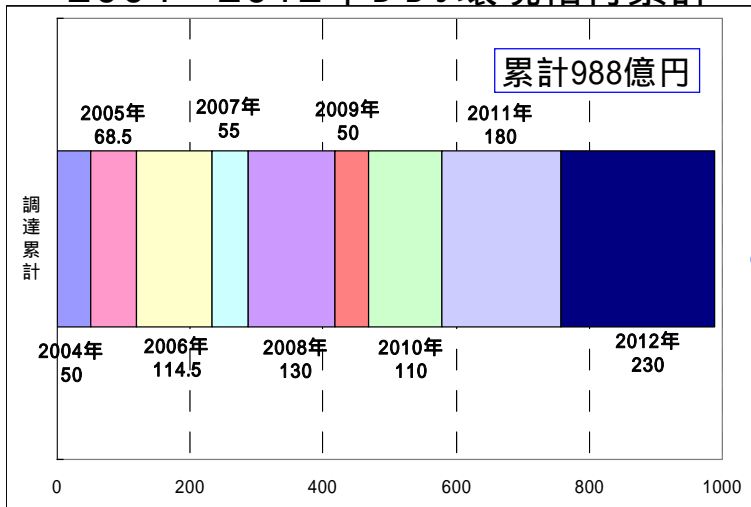
状況など、これらを選択し、最高水準の格付けを付与した。TDKは研究開発や生産能力を増強するための設備投資を行い、環境配慮型製品の高度化や供給体制の整備を実施。カーボンニュートラルの達成に向け、取り組みを拡大する。

政投銀は9月に入り、中道リースやディスコなどに対しDBJ環境格付を実施。同月末までに累計で333件に対し、5560億円の融資を行っている。TDKはセラミックコンデンサーやハードディスク駆動装置(HDD)用磁気ヘッド、産業向け電源装置などに強みを持ち、2回連続でDBJ環境格付の特別表彰を受賞した。2回連続での特別表彰の受賞は、電子部品業界では初めてとしている。

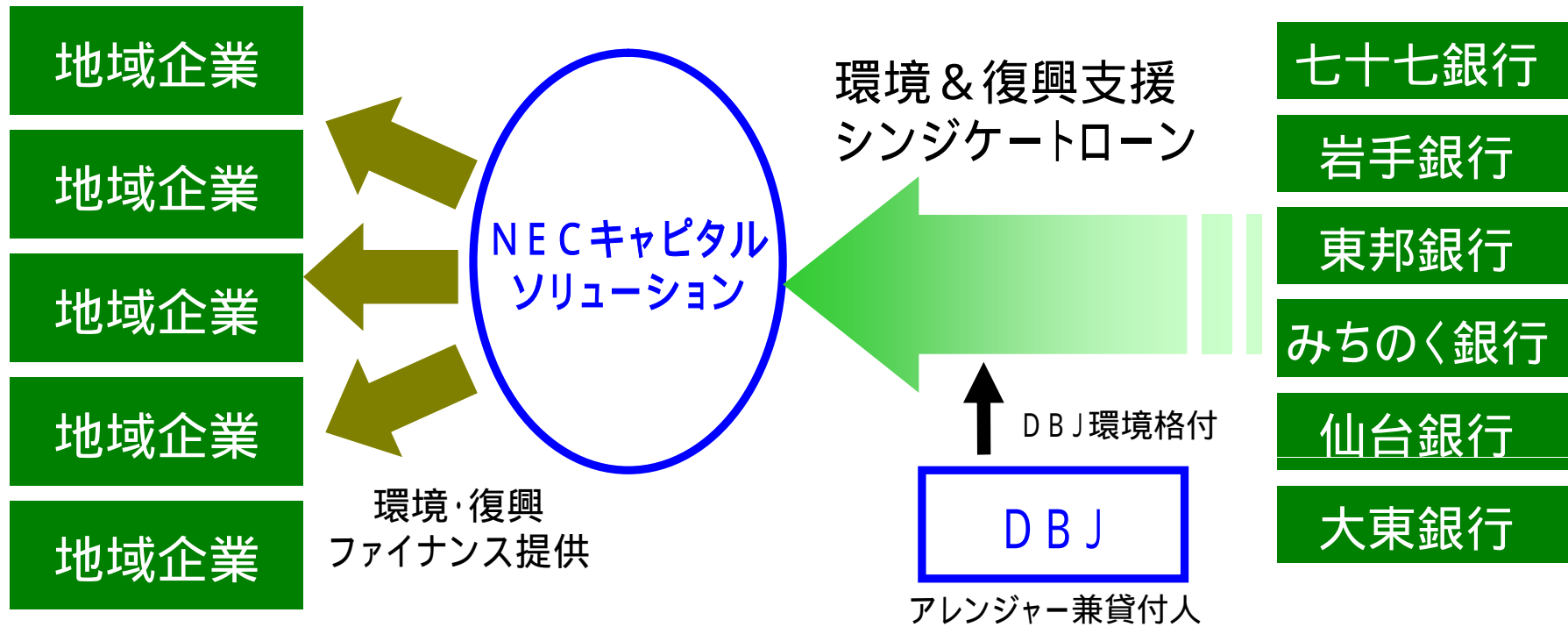
2012年10月4日 日刊工業新聞

# NECAP - DBJの信頼関係の醸成

2004～2012年DBJ環境格付累計

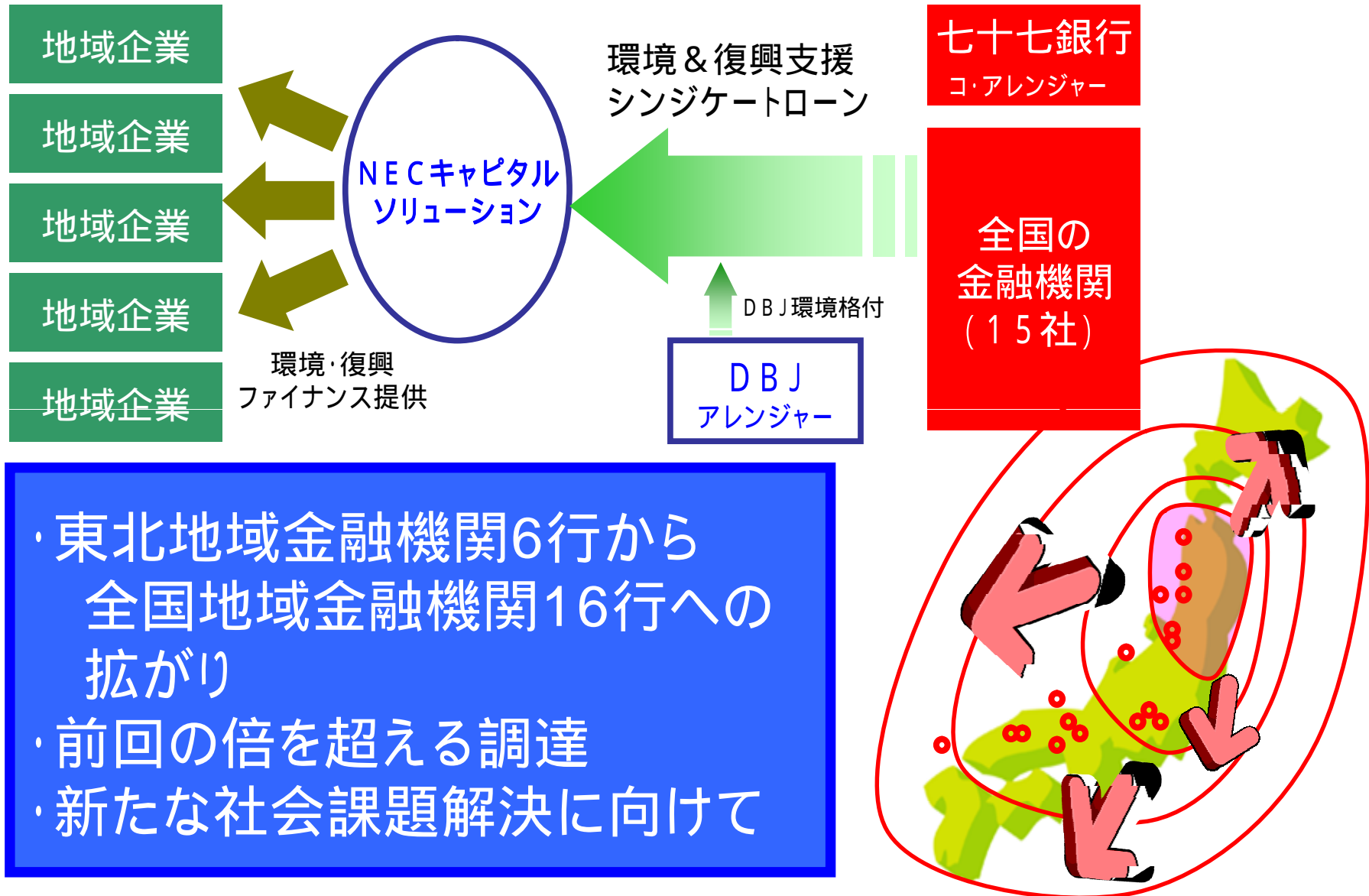


# 環境・復興シンジケートローンの組成



環境・復興に貢献  
資金の地産地消  
業界の枠を超えた協業

# 広がるネットワーク



## 環境・復興シンジケートローンの実績・効果

- 調達資金  
累計190億円

2012年2月	60億円
2013年2月	130億円

- 資金実行(2013年7月末現在)

- ▶ 約130億円
- ▶ 約360の企業・自治体が活用

ICTシステム導入 20市町村でクラウド化含む行政ネット整備	約100億
建機・運輸関連	約12億
医療機器・電子カルテ	約8億
照明等省エネ機器	約5億
工場設備	約2億

県別	お客様数	利用額 億円
福島県	79	38
宮城県	77	30
岩手県	62	19
山形県	53	18
秋田県	52	9
青森県	35	8
その他	3	8